

## 禅学関係雑誌論文目録（昭和59年）

著者	論文名	雑誌名	巻号	発行月
〔思想〕				
桧垣 巧	インド仏教と禅宗一漸・頓教の特性の出所と僧団形態一	仏教学会報 (高野山大)	9	12
村中 祐生	禅観における触法について	印度学仏教学研究	32-2	3
森 三樹三郎	中国思想における超越と内在	東洋学術研究	23-2	11
沖本 克己	中国禅よりみたる心	仏教思想	9	10
平川 彰	仏教学の学び方	禅学研究	63	12
玉城 康四郎	禅の原型	精神科学	22	3
大松 博典	天台と禅の接点	宗学研究	26	3
木村 雄吉	禅とエクリチュール(1)	法政大学教養部 紀要	49	1
粟谷 良道	神会における無念の思想 一吉蔵との比較一	宗学研究	26	3
入矢 義高	薬山の没蹤跡	禅文化	114	10
風間 敏夫	最後の仏言と南宗禅 一伝心法要の研究一	仏教学	17	4
原田 弘道	禅宗と公案	駒沢大学仏教学 研究会年報	17	2
西村 恵信	人物中国禅宗史一ノスタルジア としての禅者たち一	禅文化	111~114	1,4 7,10
上田 閑照	禅と世界一西田幾多郎と鈴木大拙一	禅文化研究所紀要	13	6
額 額 康兵	東洋的無	愛知工業大学 研究報告A	19	3
堀尾 孟	七花八裂一哲学研究班の周辺一	禅文化研究所紀要	13	6
西村 恵信	事への超越	禅学研究	63	12
橋本 芳契	西田哲学と浄土真宗	大乘禅	58-1	S56- 1
柳田 聖山	禅仏教の時間論	講座日本思想	4	3
石川 博子	久松抱石博士の覚の哲学に於ける 根本實在(3)	小田原女子短期 大学研究紀要	14	3
常盤 義伸	相互参究論究の試み	禅文化	114	10
藤吉 慈海	禅と念仏一私の迎った道一	禅文化研究所紀要	13	10
青井 和夫	禅と社会学	社会学評論	35-3	12
村本 詔司	禅への心理学の関わりについて(2)	禅学研究	63	12

ビエール＝フランソワ・ド・ベテュヌ 岡田 徹訳	禅の道とキリスト教の道 —いくつかの比較対照—	禅文化	112 113	4 7
樽 林 皓 堂	道元禅の基本的性格 —信の仏法か行の仏法か—	禅研究所紀要	12	4
桜 井 秀 雄	道元禅の現代的意義	大法論	51-6	6
佐 藤 悦 成	身心脱落考（その四）	印度学仏教学研究	32-2	3
蛭 原 真 乘	只管と看話の一致点(2)—只管の意図—	印度学仏教学研究	32-2	3
松 尾 玄 有	不一不異・不即不多—道元禅師 「全機」の論理・序説—	印度学仏教学研究	32-2	3
石 島 尚 雄	身心学道の心と身について—特に 尽十方界真実人体と色心不二との 関連性をめぐって—	駒沢大学仏教学 研究会年報	17	2
蛭 原 真 乘	思量箇不思量底	駒沢大学仏教学 研究会年報	17	2
柴 崎 文 一	道元禅と本覚法門の差異について	駒沢大学仏教学 研究会年報	17	2
佐々木 一 雄	沙門道元の罪罰観	罪と罰	21-2	1
渡 辺 真 弓	神道と日本仏教との接点に関する覚 書(承前)—空海と道元とを中心に—	神道学(出雲復刊)	123	11
東 隆 真	典座教訓に見られる苔と倭樞につ いて	宗学研究	26	3
西 嶋 和 夫	正法眼蔵全巻の四諦論に基づく 分類について	宗学研究	26	3
新 野 光 亮	正法眼蔵法華の転について	宗学研究	26	3
田 中 現 詠	正法眼蔵の罣礙	宗学研究	26	3
辻 口 雄 一 郎	正法眼蔵に於ける実相について(2)	宗学研究	26	3
吉 野 恵 子	正法眼蔵の仏陀観—修行作仏に ついて—	宗学研究	26	3
角 田 泰 隆	正法眼蔵における心について	宗学研究	26	3
大 谷 哲 夫	正法眼蔵における神の意義 —中国上代思想の神との関連に ついて—	駒沢大学研究紀要 (岩見沢)	19	3
石 島 尚 雄	正法眼蔵抄の考察—特に行仏と 天台教学について—	宗学研究	26	3
蛭 原 真 乘	只管打坐と問処の道得	宗学研究	26	3
上 田 三四二	透脱道元	新潮	81-6	6
田 中 常 憲	眼処の聞声	宗学研究	26	3
若 月 正 吾	昭和前期における宗学研究の周辺(4) —和辻哲郎著『沙門道元』の考察—	駒沢大学仏教学部 論集	15	10
泉 武 夫	白隠思想の辺縁系—イメージシ ョンと芸術観—	季刊日本思想史	23	7

古田 紹 欽	時機観のなかの個一隠逸者の立場に及ぶ一	日本仏教学会年報	49	3
〔中国〕				
葉師寺 晋	竺道生の頓悟義について	禅学研究	63	12
船本 和 則	梁・唐高僧伝における神異と狂と禅	フィロソフィア	71	S58.
亀山 卓 郎	心ハコレ菩提樹〈六祖慧能の偈をめぐって〉	禅文化	113	7
沖本 克 己	馬祖語録について	花園大学研究紀要	15	3
沖本 克 己	馬祖の語録をめぐって	禅文化	112	4
西口 芳 男	馬祖の伝記	禅学研究	63	12
長嶋 孝 行	馬祖語録と六祖壇経	印度学仏教学研究	33-1	12
小島 岱 山	李通玄における禅思想の特質	印度学仏教学研究	32-2	3
西尾 賢 隆	会昌廃仏の原因—寒山の仏教批判をてがかりに—	古代文化	36-5 36-11	5 11
鈴木 哲 雄	江南の禅宗に関する資料(下) —唐・五代—	愛知学院大学 文学部紀要	13	3
鈴木 哲 雄	雲門文偃と南漢	印度学仏教学研究	33-1	12
柴田 泰	永明延寿の唯心浄土説	印度学仏教学研究	32-2	3
石井 修 道	景德伝灯録序をめぐる諸問題	仏教学	17	4
柳田 聖 山	十牛図について	禅文化	113	7
柳田 聖 山	道元と中国仏教	禅文化研究所紀要	13	6
古賀 英 彦	禅に於ける時と機	日本仏教学会年報	49	3
鈴木 哲 雄	禅における機について—時機観と関連して—	日本仏教学会年報	49	3
石井 修 道	禅の時機観—宏智・大慧・道元の禅の比較を中心として—	日本仏教学会年報	49	3
原田 弘 道	宋代叢林の性格	仏教経済研究	13	5
東 一 夫	南宋政権の構造と日本人の王安石評	中国史よりみた中国文化の伝播と文化変容		3
石井 修 道	史弥遠と禅宗—如浄の五山入院の背景を中心として—	宗学研究	26	3
石井 修 道	大瀧山の中興について—曹洞宗との接点を考慮して—	中国仏蹟見聞記	5	8
永井 政 之	二つの雲巖—江西と湖南と—	中国仏蹟見聞記	5	8
佐藤 秀 孝	石霜山の変遷とその現況	中国仏蹟見聞記	5	8
永井 政 之	南宋における一居士の精神生活—如如居士顔丙の場合(1)—	駒沢大学仏教学部 論集	15	10
長谷川 昌 弘	松源崇岳の研究	東海仏教	29	5
柳田 聖 山	無字のあとさき—そのテキストをさかのぼる—	理想	610	3

石井修道	中国の五山十刹制度の基礎的研究(3)	駒沢大学仏教学部 論集	15	10
佐藤秀孝	曹洞禅者の日中往来について	宗学研究	26	3
阿部肇一	金朝の曹洞禅一万松行 秀と湛然居士一	中国史上よりみた中国 文化の伝播と文化変容		3
成河峰雄	勅修百丈清規祝釐・報恩章について	印度学仏教学研究	32-2	3
西部良光	株宏の浄土教	天台学報	26	11
野口善敬	明末の仏教居士黃端伯を巡って	哲学年報(九大)	43	2
長谷部幽蹊	三峰一門の隆替	一般教育研究 (愛知学院大)	31-3・4 32-1 32-2	6 11
永井政之	明清における曹洞禅者の動向(2)	宗学研究	26	3
永井政之	中国仏蹟紀行	跳龍	36-1 ? 36-11	1 ? 12
長谷部幽蹊	祖灯弁訛考釈(1)	禅研究所紀要	13	10
吉田道興	天童寺世代考(1)	禅研究所紀要	12	4
石井修道	中国禅宗史話	傘松	484 ? 495	1 ? 12
松田真道	禅宗教団の沙弥	宗学研究	26	3
椎名宏雄	高麗版禅籍と宋元版	駒沢大学仏教学部 論集	15	10
椎名宏雄	宋元版禅籍と五山版	宗学研究	26	3
椎名宏雄	宋元版禅籍研究(7)一北欄語録・ 外集・文集・詩集・全集一	印度学仏教学研究	33-1	12
西口芳男	高麗本景德伝灯録について	印度学仏教学研究	32-2	3
長谷部幽蹊	明代以降における藏経の開雕(3)	一般教育研究 (愛知学院大)	31-2	3
石井修道	11種宋代禅門隨筆集人名索引(上)	駒沢大学仏教学部 研究紀要	42	3

## 〔敦煌〕

ポール・ドミエ ヴィル	レニングラード所蔵敦煌漢文書	禅学研究	63	12
林信明 訳				

## 〔朝鮮〕

韓基斗 法兵徳 申正午	景德伝灯録に見る新羅禅 休静の一物観について	禅文化研究所紀要 東方宗教	13 64	6 10
-------------------	---------------------------	------------------	----------	---------

申 正 午	西山休静禅師の真言観について	印度学仏教学研究	32-2	3
〔日本〕				
鏡 島 元 隆	宗学の課題	宗学研究	26	3
田 島 柏 堂	道元禅における心の世界 —正法眼蔵を中心に—	仏教思想	9	10
水 野 弥穂子ら	道元禅への誘い	大法輪	51-2	2
小 倉 玄 照ら	絵入り道元禅師伝	大法輪	51-6	6
新 本 豊 三	道元における仏典の転写	禅研究所紀要	12	4
伊 藤 秀 憲	道元禅師の在宋中の動静	駒沢大学仏教学部 研究紀要	42	3
伊 東 洋 一	道元と如浄(10) —如浄禅師語録到来を 中心に—	文経論叢	19-3	3
佐 藤 悦 成	只管打坐考—如浄下の道元禅師—	日本仏教会年報	49	3
佐々木 一 雄	沙門道元の罪罰観	罪と罰	21-2	1
杉 尾 玄 有	道元禅師の老梅樹	宗学研究	26	3
新 倉 和 文	道元の達磨宗批判	印度学仏教学研究	32-2	3
池 田 魯 参	道元禅師の般若心経解釈	宗学研究	26	3
山 内 舜 雄	碓慈弘著「鎌倉時代に於ける心常相 滅論に関する研究」における道元禅 師の本覚法門批判について	駒沢大学仏教学部 研究紀要	42	3
鈴 木 祐 考	正法眼蔵弁註の研究	印度学仏教学研究	33-1	12
紀 野 一 義	正法眼蔵の閃光	宝仙学園短期 大学紀要	9	3
秋 月 龍 珉	正法眼蔵三百則講義	大法輪	51-1	1
長谷川 三千子	正月法眼蔵画餅注解	埼玉大学紀要	20	
横 井 雄 峰	正法眼蔵の英語的表現について	一般教育研究	31-3・4	6
佐 野 文 翁	玄透開版正法眼蔵について	宗学研究	26	3
増 古 和 子	三つの優婆曇多説話—今昔・ 宇治拾遺・正法眼蔵—	上野学園大学創立 80周年記念論文集		11
伊 藤 秀 憲	正法眼蔵抄口語訳の試み・仏性(1)	駒沢大学仏教学部 論集	15	10
川 口 高 風	靈鷲院に安置される曹洞宗両祖の 御霊骨	禅研究所紀要	13	10
樽 林 津 竜	義介禅師と老婆心	宗学研究	26	3
東 隆 真	伝光録の成立(4)—伝光録の真撰説、 偽撰説について—	駒沢女子短期大学 研究紀要	17	3
窪 田 哲 正	円戒における七逆受戒の問題 —証真・円琳・栄西の説をめぐって	印度学仏教学研究	32-2	3
船 岡 誠	日本禅宗史における達磨宗の位置	宗学研究	26	3

石川力山	達磨宗の相承物について	宗学研究	26	3
高橋秀栄	三宝寺の達磨宗門徒と六祖普賢舍利	宗学研究	26	3
中尾良信	大日房能忍の禅	宗学研究	26	3
古田紹欽	仏鑑禅師付法伝衣の書をめぐって	禅文化	112	4
梶谷亮治	無本覚心の画像	Museum	394	1
今枝愛真	安国寺と利生塔—平和と救済のシンボル—	清泉	16	10
大鹿実秋	夢中間答集と維摩経	那須政隆博士米寿 記念仏教思想論集		8
入間田宣夫	松島の見仏上人と北条政子	東北大学教養部紀要	41	12
西尾賢隆	日元における清拙正澄の事績	日本歴史	430	3
星清	中世日中禅思想交流史の一断面(4) (5)(6)	文明	40,41 42	3,6 11
中尾良信	幻住派について	印度学仏教学研究	32-2	3
原田正俊	播摩国における禅宗の発展—特に 臨済宗東福寺派を中心に—	仏教史学研究	26-2	3
玉村竹二	正宗中序と正宗竜統	日本歴史	428	1
今枝愛真	瑞溪周鳳の入東記	日本歴史	432	5
今泉淑夫	足利学校学徒表稿	日本歴史	428	1
今泉淑夫	花上集について	東京大学史料編纂 所報	18	3
上田純一	鎌倉・南北朝期における筑前博多 聖福寺	九州史学	79	1
大久保仁	下総結城における中世領主勢力の展 開と寺院—結城氏と禅宗を中心に—	花園史学	5	11
湯谷稔	蔭涼軒日録が語る遣明貿易・堺南庄	禅文化研究所紀要	13	6
中野栄夫	東福寺領備中国上原郷の 故地について	法政大学文学部紀要	29	3
B.E.カーペンター	義堂周信の伝記	帝塚山大学論集	45	6
朝倉尚	五山文学の特性	中世文学の世界		5
朝倉尚	禅林聯句の当座性—湯山聯句第二 庚韻の検討—	国文学攷	101	3
アラン・コラ	五山の詩僧(その1)	フランス文学(立教大)	13	3
藤野岩友	五山文学と楚辞(上)	漢文学会会報	29	2
白井忠功	正徹の定家影像讃歌について	立正大学人文科学 研究所年報	22	
石川力山	中世禅宗と神仏習合一特に曹洞宗 の地方的展開と切紙資料を中心に して—	日本仏教	60-61	8
石川力山	中世曹洞宗切紙の分類試論(3) 叢林行事関係を中心として	駒沢大学仏教学部 研究紀要	42	3

石川力山	中世曹洞宗切紙の分類試論(4) 曹洞宗における差別切紙発生の 由来について	駒沢大学仏教学部 論集	15	10
石川力山	源翁心昭と山林抖擻	印度学仏教学研究	32-2	3
樋渡登	ある種の洞門抄物一能登永光寺 切紙類から一	都留文科大学 国文学論考	20	3
近藤良一	句双紙抄(その1)	駒沢大学研究紀要 (岩見沢)	19	3
竹貫元勝	朝倉氏と大徳寺	花園史学	5	11
鈴木良明	御免勸化と近世寺社政策一円覚寺 御免勸化について一	鎌倉	46	7
船岡誠	近世初期禅僧の農民観	歴史論	7	1
堺光一	おくのほそ道の旅における芭蕉の 真意一幻住庵記による考察一	皇学館大学紀要	20	1
杉野承	東海地方における近世曹洞宗本堂の 研究(その5)	愛知工業大学研究 報告B	19	3
朝枝善照	禅と念仏を貫くもの	印度学仏教学研究	32-2	3
中世古祥道	大慈寺の檀那河尻氏について	宗学研究	26	3
木村玄芳	読解・大円宝鑑国師年譜(3)	正法	3	10
古田紹欽	捨女から貞閑尼へ	大法輪	51-11	11
新井勝竜	江戸期五位史(1)	宗学研究	26	3
大谷哲夫	日本禅門における三教観(承前) 一三教一致舟を中心にして一	印度学仏教学研究	32-2	3
長谷川匡俊	近世念仏者と外来思想一黄檗宗の 念仏者独湛をめぐって一	季刊日本思想史	22	4
桜井敏雄	黄檗山万福寺の伽藍計画と建築(上) (下)	近畿文化	418 419	9 10
笹尾哲雄	新州禅師とその門下	正法	3	10
小川武彦	石川丈山年譜稿(上)	跡見学園女子大学 紀要	17	3
広瀬良弘	鈴木正三と近世社会	跳龍	36-2	2
鈴木格禅	勇猛の禅者・鈴木正三	跳龍	36-2	2
心山義文	白隠における三教一致論	国史学研究(龍大)	10	3
新保哲	白隠の布教について	印度学仏教学研究	33-1	12
亀山卓郎	白隠が描いたお多福女郎の意味と その真作・贋作	禅文化	111	1
河村孝道	卍山道白禅師の一側面	跳龍	36-1	1
鏡島元隆	卍山禅師の生涯	跳龍	36-1	1
鏡島元隆	面山和尚の行実	跳龍	36-7	7
小坂機融	面山瑞方和尚と祖規復古	跳龍	36-7	7

佐々木 章 格	指月慧印をめぐる人々	宗学研究	26	3
黒 丸 寛 之	指月禪師とその宗学	跳龍	36-5	5
原 田 弘 道	劍禪一致の人 物外不遷	跳龍	36-4	4
新 井 勝 龍	万侶道担和尚—その生涯と 禅戒思想—	跳龍	36-3	3
河 村 考 道	万侶道担禪師と正法眼蔵秘鈔	跳龍	36-3	3
鈴 木 祐 考	天桂伝尊の研究	宗学研究	26	3
志 部 憲 一	天桂伝尊再考—伝記とその思想—	宗学研究	26	3
鈴 木 祐 考	天桂伝尊の研究	印度学仏教学研究	32-2	3
吉 田 道 興	天桂和尚の面目	跳龍	36-8	8
大 星 光 史	良寛と漢詩	長岡郷土史	22	3
黒 田 紀 也	良寛の詩「仙桂和尚について」	岡山理科大学紀要 (人文・社会科)	19	3
永 岡 利 一	良寛と飯盛女	大法輪	51-12	12
黒 坂 富 治	良寛の遺詠とその作曲(3)	新潟青陵女子短期 大学研究報告	14	2
田 島 柏 堂	梅嶺大枝の研究	禅研究所紀要	12	4
川 口 高 風	雲生洞門と大薩祖梁	印度学仏教学研究	32-2	3
川 口 高 風	迦葉伝衣非金襴弁をめぐる論争	禅研究所紀要	12	4
渡 部 正 英	洞上行持軌範についての一視点(2)	宗学研究	26	3
鈴 木 泰 山	中遠地方仏教団史稿(3) —袋井市史の一環として—	愛知大学総合郷土 研究所紀要	29	3
ジョン・W・ スティーンズ	幕末の三舟—明治期における3人の 禅指導者—	東北福祉大学紀要	8-1	1
山 崎 国 紀	寒山拾得にみる鷗外の禅境	禅文化	113	7
川 口 高 風	雪鴻禪師の題辞・序・跋文	傘松	492	9
鷲 津 孝 道	神戸事件瀧善三郎の墓	花園史学	5	11
早 苗 憲 生	禅宗仮名法語集の研究(資料篇) 靈雲院本大応国師法語解題・翻刻	禅文化研究所紀要	13	6
伊 藤 克 己	大徳寺塔頭大仙院所蔵文書(1)	駒沢史学	32	9
田 中 健 夫	続善隣国宝記について—所収史料の 特質と撰述の経緯—	東洋大学文学部紀要 史学科篇10	38	12
伊藤(大河内)智子	建長寺僧籍帳(7)(8)(9)	鎌倉	45,46 47	3,7 11
松 田 紹 典	犬山臨溪院所蔵写本二種について	正法	3	10
高 木 謙 応	垂示公式須知	正法	3	10
東 隆 真	曹洞宗と神祇	大法輪	51-10	10
田 中 耕一郎	曹洞宗末寺の土地問題	部落	36-3	3



有馬 頼 底	僧堂の食文化	国文学（解釈と 教材の研究）	29-3	3
H・デュルト	日本禅宗の護法神：大権修利菩薩について	印度学仏教学研究	32-2	3
大宮司 慎 一	東北の観音信仰	正法	3	10
谷 口 鉄 雄	禅宗六祖印像について —豊後・円福寺本を中心に—	仏教芸術	155	7
藤 島 幸 彦	日本における牧溪風猿猴図の展開	美術史研究(早大)	21	3
吉 村 貞 司	墨と禅と書	大法輪	51-10	10
寺 山 且 中	洞門の書と人	跳龍	36-8	8
			36-9	9
			36-10	11
影 山 純 夫	常栄寺惟松円融画像 —雲谷派作品研究(2)—	山口大学研究論叢 (人文科学・社会科学) <sup>33</sup>	33	1
[その他]				
花 田 伸 久	普化尺八の原理	テオリア	27	3
河 端 五 平	虚無僧旅宿改について	武生市史編さんだより	12	10
谷 川 理 宣	金剛般若経一字索引(上)	佐賀龍谷短期大学紀要	30	2
平 野 宗 浄	中国遊行のこと	禅文化	114	10
西 口 芳 男	南岳と唐代の禅宗一碧岩録の 旅に参加して—	禅文化	114	10
高 木 侃	東慶寺所蔵松ヶ岡日記一解題と 翻刻—(2・完)	関東短期大学紀要	28	3
加藤 健 一	僧堂教育を見直す	大法輪	51-1	1
西 部 文 浄	東福寺開山忌	淡交	38-12	12
河 原 正 彦	天目一天目黒釉磁の展開—	淡交	38-12	12
常 盤 義 伸	後近代人を生み出すモダン危胎	禅文化	111	1
岡 松 和 夫	骸骨寸感	禅文化	114	10
重 松 宗 育	仮の世ばかりが己が世なれば (禅林世語をめぐるエッセイ)	禅文化	112	4
重 松 宗 育	一句合頭語 万却繫驢𦍋(禅林句 集をめぐるエッセイ(上))	禅文化	113	7
重 松 宗 育	傭他痴聖人 担雪共填井(禅林句集 をめぐるエッセイ(下))	禅文化	114	10
安藤 正 英	仏法東漸とアメリカ文化	禅研究所紀要	12	4
村 尾 利 夫	瑞応寺の梵鐘について	郷土史談 (新居浜市)	102	1
高 木 宣	秦禅師詩偈作法行義	一般教育研究 (愛知学院大)	32-2	11
鎌 田 茂 雄	中国に見た五万体の石仏群	大法輪	51-3	3

鎌田茂雄	中国・石窟寺院の東漸	大法輪	51-10	10
------	------------	-----	-------	----

## 〔書評・紹介〕

椎名宏雄	柳田聖山編『祖堂集索引』	駒沢大学仏教学部 論集	15	10
中川徳之助	玉村竹二著『五山禅僧伝記集成』	日本歴史	433	6
船岡誠	加藤健一著『道元—その思想と教育』	日本歴史	432	5

〔西尾賢隆編〕